

《担当者名》○西郷 達雄 (t-saigo@hoku-iryo-u.ac.jp) 上河邊 力 関口 真有

【概要】

公認心理師は、医療や福祉、教育、司法、産業と様々な現場での活躍が期待されている。公認心理師に求められている業務内容として、心理に関する支援を要するものに対し、その心理に関する相談に応じ、助言・指導、その他の援助を行うことが明記されている。本講義では、心理学的支援法 に続き、代表的な心理療法の歴史、概念、意義とその適応や限界について網羅的に学び、公認心理師に必要な支援に関する専門的知識の修得を目指す。さらに、訪問による支援や地域支援の概要や意義についても修得を目指す。

【学修目標】

- 認知行動療法の歴史、概念、意義とその適応や限界を理解する。
- ストレスと心の健康への支援法概念や意義や限界を理解する。
- 技法の選択と効果のエビデンスの方法について理解する。
- 心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援（コンサルテーション、チーム支援など）について理解する。
- 訪問による支援や地域支援の意義について理解する。
- 産業・労働領域におけるストレスチェックやハラスメント対応などの支援方法について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	行動療法の基本的発想、意義、適応及び限界、支援の実際について学ぶ。	関口 真有 上河邊 力
2	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	行動分析、応用行動分析の基本的発想、意義、適応及び限界について学ぶ。	関口 真有 上河邊 力
3	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	行動療法や応用行動分析を用いた支援の実際について学ぶ。	関口 真有 上河邊 力
4	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	認知療法・認知行動療法の基本的発想、意義、適応及び限界について学ぶ。	関口 真有 上河邊 力
5	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	うつ病や不安障害に対する認知行動療法のマニュアルをもとに、支援の実際について学ぶ。	関口 真有 上河邊 力
6	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	ストレスと心の健康への支援法の概要について学ぶ。また、予防教育やポジティブ心理学的アプローチの概念、意義、適応や限界、支援の実際について学ぶ。	関口 真有 上河邊 力
7	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	ソーシャルスキルトレーニングの概念およびその適応、支援の実際について学ぶ。	関口 真有 上河邊 力
8	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	アサーション・トレーニングの概念およびその適応について学ぶ。	西郷 達雄
9	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	コミュニティアプローチにおけるチームアプローチ、アウトリーチ、コンサルテーション、危機介入について学ぶ。	西郷 達雄
10	訪問による支援や地域支援の意義	訪問による支援や地域支援について学ぶ。地域包括ケアシステム、緩和ケアについて学ぶ。	西郷 達雄
11	訪問による支援や地域支援の意義	訪問による支援や地域支援について学ぶ。自殺の予防、災害時における支援について学ぶ。	西郷 達雄
12	心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援	関係者に対する支援について学ぶ。チーム支援、コーディネートについて学ぶ。さまざまな場面におけ	西郷 達雄

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		る心理教育について学ぶ。	
13	メタアナリシス	メタアナリシスについて学び、Evidence-Based Medicine (EBM) について理解する。	西郷 達雄
14	心の健康教育	心の健康教育について学ぶ。ストレスチェック、コーピング技法、セルフヘルプ、トータルヘルスプロモーションについて学ぶ。	西郷 達雄
15	心の健康教育	心の健康教育について学ぶ。様々な場面におけるハラスメント対応とその危機管理について学ぶ。	西郷 達雄

#### 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

期末試験70%、小テスト30%

#### 【教科書】

適宜、プリントを配布する。

#### 【参考書】

杉原 保史 (著, 編集), 福島 哲夫 (著, 編集), 東 斉彰 (著, 編集)「公認心理師標準テキスト 心理学的支援法」(北大路書房)

坂野雄二 (1995) 認知行動療法 日本評論社

坂野雄二 (2011) 認知行動療法の基礎 金剛出版

ポール・A. アルバート (著), アン・C. トルトマン (著), Paul A. Alberto (原著), Anne C. Troutman (原著), 佐久間 徹 (翻訳), 谷 晋二 (翻訳), 大野 裕史 (翻訳) (2004) はじめての応用行動分析 日本語版(二瓶社)

島津 明人 (編集), 種市 康太郎 (編集) (2016) 産業保健スタッフのためのセルフケア支援マニュアル: ストレスチェックと連動した相談の進め方 誠心書房

平木典子 (2009) 改訂版 アサーション・トレーニング さわやかな 自己表現 のために 金子書房

隅田好美 (編集), 藤井博志 (編集), 黒田研二 (編集) (2018) よくわかる地域包括ケア ミネルヴァ書房

S. ムーリー (著), S. グリア (著), Stirling Moorey (著), Steven Greer (著), 鈴木 伸一 (監修, 翻訳) (2016) がん患者の認知行動療法: メンタルケアと生活支援のための実践ガイド 北大路書房

半田一郎 (編) スクールカウンセラーと教師のための「チーム学校入門」

日本精神神経学会 多職種協働委員会 (編) 多職種でひらく次世代のこころのケア

隅田好美 (編), 藤井博志 (編), 黒田研二 (編) よくわかる包括ケア

#### 【備考】

厚生労働省HPより「認知行動療法マニュアル」、「自殺対策」および「地域包括ケアシステム」に関する資料も閲覧しておくこと。

#### 【学修の準備】

予習: シラバスの記載内容を参考に、参考図書、関連図書などを用いて講義内容を予習すること (30分)

復習: 復習問題に正解できるように、前回の講義内容を復習しておくこと (30分)

#### 【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】

本講義を通して、心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的な知識を修得する。本講義を通して心理学的支援に関する姿勢や態度を身につける。社会や科学技術の進展に伴い自律的に学習する姿勢や態度を獲得させる、という臨床心理学科のディプロマ・ポリシーに適合している。

#### 【ICTの活用】

学習教材 (授業資料) の配信や学習課題の提示においては、Google Classroomを利用する。

#### 【実務経験】

西郷 達雄 (公認心理師) 上河邊 力 (公認心理師) 関口 真有 (公認心理師)

#### 【実務経験を活かした教育内容】

これまでの公認心理師としての臨床経験、研究成果、社会活動に基づき、臨床現場で必要とされる基本的な知識からその応用までを修得できるような講義を展開する。